

# デジタルアーカイブで タイムスリップ！

泉大津市ORIAMデジタルヒストリーを活用した地域探究アイデア

嶋田	沙貴子	泉大津市立穴師小学校
山田	徹	泉大津市立穴師小学校
房野	康恵	泉大津市立上條小学校
山本	圭亮	泉大津市立上條小学校
宮田	諭志	成城学園初等学校

# ここはどこでしょう？



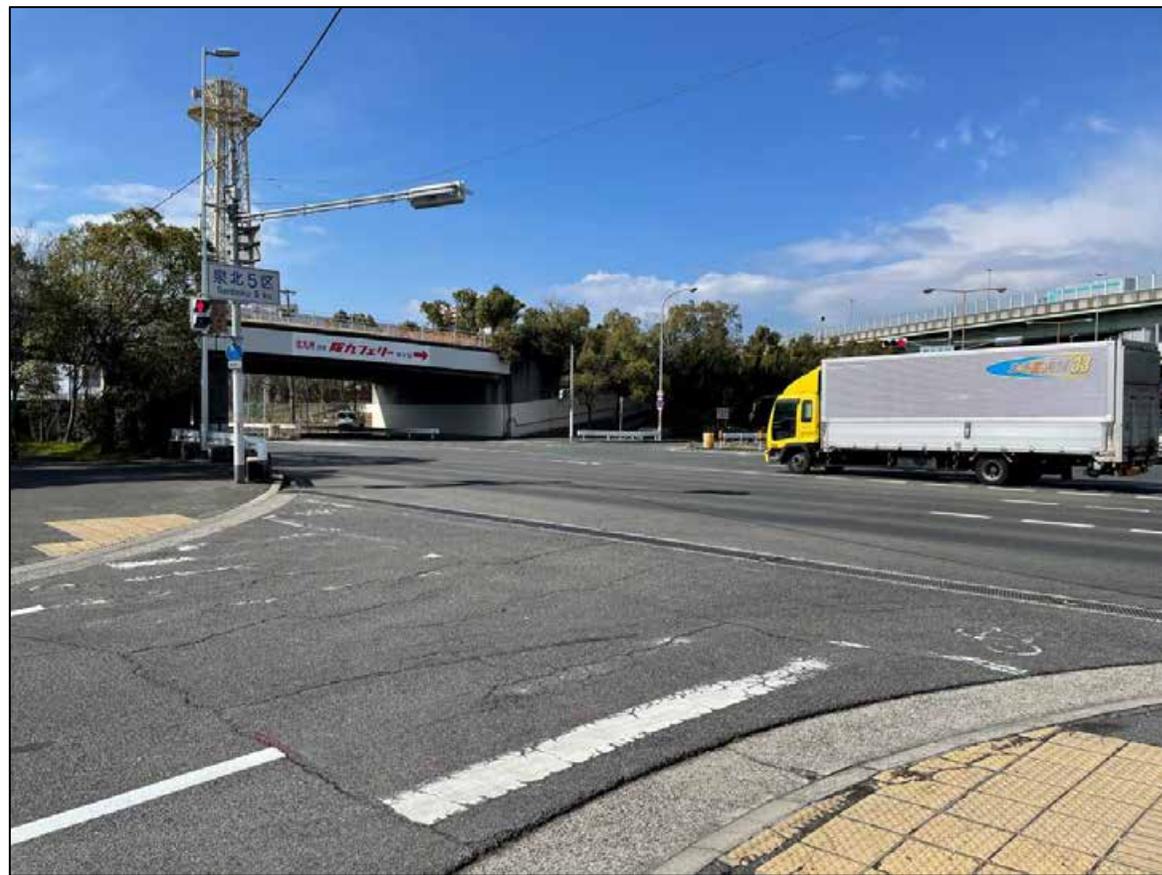
<https://adeac.jp/izumietsu-city-oriom-history/catalog/mpo3002300>



目録詳細 / 助松海水浴場入口 (adeac.jp)

2枚の写真には、海の家が立ち並ぶ様子や海水浴を楽しむ人の姿が映っています。小さな子は、砂浜に遊びに行くところでしょうか。「助松」の表記から、『助松プール』や『北助松駅』が想起されます。

# 助松海水浴場があった辺りは今



現在の様子を写真で示すと、あまりの変容ぶりに「海水浴場があったなんて信じられない!」「どんな海だったんだろう。遊んでみたいな〜」「海水浴場はいつなくなったのかな」などの声が挙がってきそうです

# 助松海水浴場の移り変わり

広報いずみおおつ  
平成22年7月号(平成22年7月1日発行)

## おおつ物語



助松海水浴場(『東大津市勢要覧』昭和30年版より)

### 水とくらし(7) 助松海水浴場

泉大津の海岸は、砂浜の美しい遠浅の浜でした。海岸沿いには松原が形成され、現在でも「松之浜町」「助松町」「小松町」など、松のつく地名が多く残っています。かつてこの遠浅の浜には「助松海水浴場」という海辺の小さなリゾート地がありました。

海水浴場の開設は、昭和23年(1948)のことでした。「助松」の名がついていますが、最寄駅は現在の松ノ浜駅でした。ちなみに現在の北助松駅の開設は昭和32年ですが、かつて松ノ浜駅は助松駅という名称でした。

当時松之浜から助松にかけての海岸付近一帯は「南浜寺」と呼ばれ、保養地として料亭旅館や別荘が数多くあった場所でした。この地では海水浴場が開設される以前から海水浴が盛んで、大阪にも近いためか、夏の海水浴場は大勢の人で賑わい、砂浜には海の家も数多く建ち並んでいました。

海水浴場が開設されてから10年経った昭和33年、府議会が「堺・泉北臨海工業地帯」の造成事業が決定され、泉州の海岸一帯は埋め立てられることになりました。これによって泉州海岸を賑わした大浜、湊、浜寺、高師ノ浜、助松の海水浴場は次々と閉鎖されました。現在はその跡地に助松プールがつくられ、涼を求める市民の憩いの場となっています。

今回は「池上曾根遺跡とその時代」(1)をお伝えします。

[目録詳細 / 埋立直前頃の助松海岸 \(adeac.jp\)](http://adeac.jp)



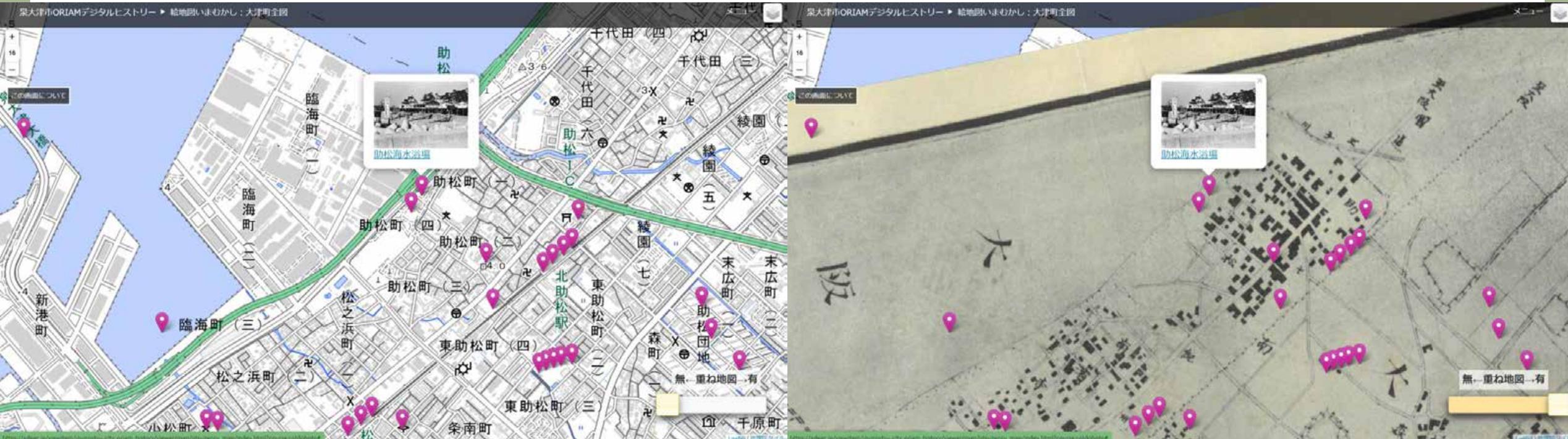
広報誌の特集ページからは、助松海水浴場がにぎわっていたころの様子や、工業地帯の造成によって海岸一帯が埋め立てられたことが書かれています。慣れ親しんでいる『助松プール』が作られた経緯もうかがえ、今までとは見え方が変わる感覚をえることができるのではないのでしょうか。

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/material/files/group/5/2207kouhou32.pdf>

泉大津市役所 松原丘報誌(☎33・1131)  
〒595-8686 泉大津市東雲町9番12号

編集/発行

# 今と昔の地図をくらべてみると...



[https://adeac.jp/izumiotsu-city-ori-am-history/viewer/map/otsuzenzu\\_map/index.html?course=oldphoto](https://adeac.jp/izumiotsu-city-ori-am-history/viewer/map/otsuzenzu_map/index.html?course=oldphoto)

100年ほどの間に、まちの様子が大きく変わってきたことを知った子ども達に「助松海水浴場の辺りのように、ほかにもことがあるんじゃないかな」などと問いかけてみてはどうでしょうか。その際に、今と昔の地図が“重ね地図”になっている『絵地図いまむかし：大津町全図』を活用すると、土地利用や交通の様子が大きく変化していることを読み取ることができます。

# 泉大津市ORIAMデジタルヒストリー 古写真の活用アイデア

☆ 『絵地図いまむかし：大津町全図』に載せられている昔の写真と、同じ場所の今の写真を並べてみました。

☆ 並べてみると、場所に応じて様々な気づきが生まれてきそうです。気づきの方向性によっては、授業の導入に使えるものもあります。

☆ 子ども達にとってなじみのある場所をピックアップして提示し、まるでタイムスリップするかのような感覚を楽しんでほしいと思います。

# 大津神社

だんじりに参加している人の様子や年齢、大津神社の雰囲気、沿道の様子などに目を向けたくになります。だんじり祭りはいつごろから行われていたのでしょうか。

▶小4 地域の祭り



[目録詳細 / 秋季祭礼 大津神社前を走るだんじり \(adeac.jp\)](#)

# 中央商店街



[目録詳細 / 田中町商店街 \(adeac.jp\)](http://adeac.jp)

中央商店街はかつて田中町商店街と呼ばれていたようです。「やまき洋装店」「大谷菓子店」「協和銀行」...。当時はどんなくらしをしていたのでしょうか。今もつづくお店はあるのでしょうか。

- ▶小2 まちたんけん
- ▶小3 まちのうつりかわり
- ▶小6 戦後のくらし／国民生活の向上



# 泉大津駅前 緬羊像

泉大津駅前に静かにたたずむ羊の像。設置した当時は、紅白幕がかかり、多くの人が集まっています。この羊にはどのような願いがこめられているのでしょうか

- ▶小3 地域の生産にたずさわる人々
- ▶小5 我が国の工業生産と人々のくらし



[目録詳細 / 緬羊像設置 \(adeac.jp\)](http://adeac.jp)

# 泉大津市ORIAMデジタルヒストリー キュレーションアイデア

☆キュレーションとは、何らかのテーマや価値観などに基づいて、事物を選択・分類・提示し共有することを言います。

☆泉大津市ORIAMデジタルヒストリーにアーカイブされている資料より、以下の2つのテーマでキュレーションアイデアを作成しました。

- ①泉大津駅とその周辺の移り変わり
- ②泉州はじめ地中海周辺地域に多く分布するため池の役割と歴史

☆資料収集や授業活用の参考になれば幸いです

# 時代とともに移り変わる泉大津駅 なぜ変わったの？どんな願いがこめられているの？

1950 1960 1970 1980



[目録詳細 / 泉大津駅 \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / 泉大津駅ビル新築工事 \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / 泉大津駅 \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / 泉大津駅前ロータリー \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / 泉大津西口駅前のアーチ \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / ラッシュ時の泉大津駅 \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / 泉大津駅前東側駐輪場 \(adeac.jp\)](#)

# 時代とともに移り変わる泉大津駅 なぜ変わったの？どんな願いがこめられているの？

1990



[目録詳細 / 建設中の泉大津駅前再開発現場 \(adeac.jp\)](#)



[目録詳細 / アルザ泉大津グランドオープンテープカット \(adeac.jp\)](#) [目録詳細 / アルザ泉大津グランドオープン \(adeac.jp\)](#)

2000



[目録詳細 / 泉大津駅前東側ロータリー \(adeac.jp\)](#)

泉大津駅とその周辺の姿は、時代とともに変化してきました。その変化の根っこには、当時の人々のどのような願いがこめられているのでしょうか。また、どのような社会状況から変化が必要となったのでしょうか。変わっていないものはないのでしょうか。

▶小3 まちの移り変わり

# ミクロからマクロに視点を広げる 穴師小学校の“ため池”は探究の種！



[目録詳細 / 穴師小学校 \(adeac.jp\)](https://adeac.jp)



[地理院地図 / GSI Maps](https://gsi.go.jp) | [国土地理院](https://www.kspr.go.jp)

50年以上前の穴師小学校の隣には、大きなため池がありました。今、その名残を感じることは難しいようです。同時期の航空写真を国土地理院の地理院地図で見ると、穴師小学校脇だけでなく、いくつもため池があったことがわかります。

# ミクロからマクロに視点を広げる 穴師小学校の“ため池”は探究の種！

## (ため池)

瀬戸内式気候に属し、年平均気温は約16℃と温暖です。年平均降水量は約1,300mm前後と少なく、当地域には大きな河川がないため、農業用水は古くから多くのため池に頼っています。大阪府内のため池数は約4,700箇所（全国9位）で、そのうち4割の約2,000箇所が当地域にあります。



泉州地域のため池群

	府県名	ため池数	ため池密度 (箇所/km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
1	兵庫県	24,400	2.9	659
2	広島県	18,938	2.2	335
3	香川県	14,614	7.8	520
4	岡山県	9,760	1.4	270
5	山口県	8,638	1.4	230
9	大阪府	4,678	2.5	4,640

(ため池数は、令和3年1月農水省HPより)

大阪府／泉州地域の地勢 ([osaka.lg.jp](https://osaka.lg.jp))

※下線、枠線は本教材作成者が追記

ため池は、大阪府のほかに、兵庫県、広島県、香川県などに多いことが統計資料からわかります。これら上位の府県に共通するのは地中海に面しているということです。

▶小5 国土の気候の特色と人々の暮らし

# ミクロからマクロに視点を広げる 穴師小学校の“ため池”は探究の種！

## ため池の歴史

- 水田農業を主体とするわが国では、ほ場の拡大や土木技術の発達とともに農業水利施設を造成し、水源として農業用のため池も数多く築造してきました。
- ため池の約70%は江戸時代以前に築造されたもの、もしくは築造年代が不明なものであり、築造に当たっては、各地域において試行錯誤を繰り返して得られた経験的な技術をもとに造られてきたものと推測されます。

### 口ため池の歴史

**狭山池古地図**  
(西暦616年頃築造 大阪府大阪狭山市)



**昔の工事の様子**



**満濃池の江戸時代の工事の様子**  
(満濃池地盤之図)

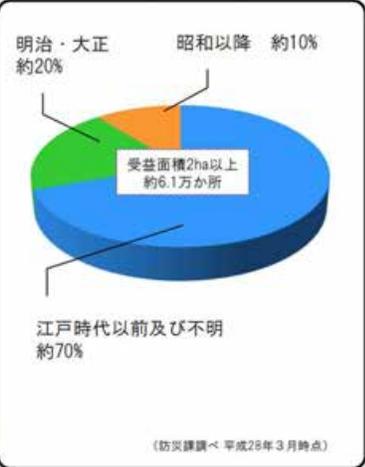


転圧は杵や人の足で踏み固めて盛土したと言われている。

**工事に使われた道具**



### 口ため池の築造年代



明治・大正 約20%      昭和以降 約10%

受益面積2ha以上 約6.1万か所

江戸時代以前及び不明 約70%

(防災課調べ 平成28年3月時点)

[index-116.pdf \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp/index-116.pdf)

## 大阪府 農と水を支えた人 行基

### 行基の灌漑事業

**大阪府堺市**  
668年～749年(天平21年)

行基は、奈良時代の僧侶で、天智天皇即位の668年和泉国大島郡蜂田郷(現・堺市西区家原寺町の辺り)で生まれました。父方の高志(こし)氏は百濟系(渡来人)の豪族、母方の蜂田氏は中臣(なかとみ)系の豪族でした。

行基は15歳の時に出家し、法相宗飛鳥寺の高僧・道昭について修行しました。38歳の時から各地を巡り民間布教に努めました。その一方、土木技術を習得した行基は、彼を慕い集まった庶民と共に、苦しんでいる人々を救うため、ため池や農耕かんがい施設を造りました。ため池、用水路に始まる土木工事は、さらに堀川、波止場、橋、道路へと拡大していきました。

大阪府内には行基が造ったとされる「ため池」が、狭山池(大阪狭山市)、久米田池(岸和田市)、鶴田池(堺市)など数多く残されており、これら施設は時代を超えて地域住民に恩恵を与え続けています。行基は749年、大勢の民衆に惜しまれつつ、82歳の生涯を閉じましたが、行基が築いた業績は人々に語り継がれ、今でも行基菩薩として慕われています。

**参考情報**

- 参考文獻：阪本太郎・平野邦雄編『日本古代氏族人名辞典』(吉川弘文館)
- 『没1250年特別展 行基』(堺市博物館)
- 『行基の構築と救済』(大阪府立狭山池博物館)
- 吉田晴雄編『行基と律令国家』(吉川弘文館)
- 千田稔著『天平の僧行基』(中公新書)



行基坐像(複製)



狭山池(大阪狭山市)

[大阪府 農と水を支えた人 行基：農林水産省 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp)

歴史に着目してみると、ため池は江戸時代かそれ以前に作られたものが多いことが見えてきます。中でも、大阪府のため池は、聖武天皇とともに東大寺の大仏建立に携わったことで知られる行基が深くかかわっていました。

▶小6 聖武天皇と東大寺の大仏

# ミクロからマクロに視点を広げる 穴師小学校の“ため池”は探究の種！

翻刻機能付きのデジタルアーカイブを活用して  
ワンクリックで翻刻文を調べてみよう！

重源狭山池改修碑.大阪狭山市 所蔵, 「大阪狭山市立図書館／築造1400年の狭山池」収録.

<https://adeac.jp/osakasayama-lib/catalog/mp000010-200020>

大阪府狭山市に「狭山池」があります。その歴史は古く、築造は7世紀前半にさかのぼります。『古事記』や『日本書紀』にも登場し、現存するものとしては国内最古のため池です（引用：水面のある風景－狭山池ガイド／大阪狭山市ホームページ [city.osakasayama.osaka.jp](http://city.osakasayama.osaka.jp)）。国の重要文化財に指定されている「重源狭山池改修碑」には、行基が堤防を築いたことや、その後狭山池の改修に関することが記されています。